



WILL ちいき通信 Vol. 7 (改訂版)

地域連携委員会 2021年3月発行

札幌保健医療大学から、地元の皆様に地域連携活動をお知らせする広報誌です。

■『WILL ちいき通信』第7号 発行にあたって

地域連携委員長 千葉 昌樹

一昨年12月以降、中華人民共和国湖北省武漢市において発生した新型コロナウイルスに関連した肺炎の患者が確認され、最近では、英国、南アフリカ、ブラジルなどの変異株による感染も北海道をはじめ、全国で猛威を振るっております。

その様な中で、地域の皆様に保健医療分野における「知」の拠点として、微力ながら健康の保持・増進に貢献してまいりました。特に、コロナ禍ではありましたが、看護学科、栄養学科の両学生が積極的に企画・実施を行い、地域貢献に寄与すると共に、地域の皆様からのご指導、ご助言をいただき、新たな持続可能な連携に向けた取り組みを模索する1年でもありました。今後は、コロナ禍における両学科の更なる連携強化による、地域に根ざした活動を推進して参ります。

2020年度 地域連携活動報告

◆ モエレ町内会「中沼西夏祭り」開催中止

例年参加していたモエレ町内会主催の「中沼西夏祭り」は、新型コロナ感染症拡大に伴い、今年度は開催が見送られました。次年度は、感染拡大が終息し、再開が決まれば是非参加したいと思います。

◆ 「ひがしく健康・スポーツまつり2020」開催中止

こちらも新型コロナ感染症拡大の影響を受けて、開催が中止となりました。主催者である東区連合町内会連絡協議会と東区役所では、区民の健康づくりを支援できるようにと企画された「生活に密着したウォーキング普及事業」に共催として参画する冊子「東区ウォーキングノート(ゆったり編、おしごと編、こそだて編)」を、学内配布する形で協力参加するに留まりました。次年度は、是非開催される環境になりますように期待しています。

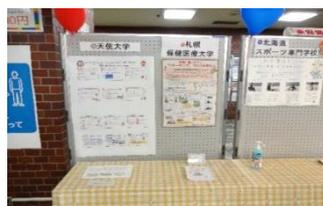
◆ 「第11回公開講座」を開催しました

10月31日(土)に、本年度第1回目となる第11回公開講座を「札幌紀伊国屋書店インナーガーデン」において開催しました。今回は、「今の時を豊かに生きるために～身近な人を、寛容に優しく受け入れて生活する～」をテーマに本学教員2名が講師となり、コーディネーターは本学看護学科の針金佳代子教授、総司会を千葉昌樹地域連携委員長が務め、35名の皆様に参加いただきました。初めに小林清一学長から挨拶があり、その後、本学看護学科佐藤郁恵教授から「語ること、語り聞くこと～違いを認め、つながりを見出す～」、栄養学科岡本智子

准教授から「共感すること、されることで満たされる“心の栄養”～今、改めて考える“共感”を通してもたらされる安心感～」として講演が行われました。これを受けて、参加者の方から多くの質問がだされ、あっという間に終了の時刻がきました。参加者からは「人間関係の大切さを改めて再認識できて良かった」、「改めて共感することの大切さを感じました」、「とても分かりやすく、納得のいく内容でした」などの感想が寄せられました。



◆ 「第18回ひがしく健康づくりフェスティバル」開催中止
代替企画「健康づくりパネル展」に参加



例年2月に開催していた「ひがしく健康づくりフェスティバル」も新型コロナ感染拡大の影響を受けて開催が中止になりました。その代替イベントとして「健康づくりパネル展」が2021年2月1日から2月5日の日程で、開催されました。従来のパネル展では「地域の健康づくり紹介コーナー」と「自殺予防対策コーナー」でしたが、今年度は「ウォーキングコーナー」を新たに追加し、5者連携で参加している各学校から「ウォーキング」をテーマとした健康寿命延伸をアピールしたポスターを作成して展示するという企画でした。委員会では、五者連携の関わりからも協力することとし、A2版の大きさでポスターを制作し、パネル展に参加しました。期間が短かったこともあり、あまり多くの方の参加者は見られなかったようですが、来場した市民の皆さんには、春先からのウォーキングに向けて家でも簡単にできるトレーニングとフレイル予防のための食事などを理解していただく機会になったのではと思います。

2021年度 地域連携活動予定

- ◆ 6月 公開講座 於：紀伊國屋書店本店 1F インナーガーデン
- ◆ 10月 公開講座 於：紀伊國屋書店本店 1F インナーガーデン
- ◆ 7月 モエレ町内会中沼西夏祭り 健康相談・学生催事 於：中沼西会館
- ◆ 10月 ひがしく健康・スポーツまつり2021
- ◆ 2月 東区健康づくりフェスティバル 於：東区民センター

編集後記 今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために東区5者地域連携事業のほとんどが中止となり、継続した活動をとおして、地域の方々とより深くふれあうことの難しさを感じた一年でした。来年度はこの新型コロナウイルス感染症拡大の終息を願って、引き続き保健医療分野の知の拠点として地域の方々へ情報発信をしていきますので、よろしくお願いいたします。
(編集担当委員：宮本、小笠原)

発行所  札幌保健医療大学
Sapporo University of Health Sciences

〒007-0894 札幌市東区中沼西4条2丁目1番15号
Tel. (011) 792-3350 (代) Fax. (011) 792-3358